

小林 秀彦

改革ネットワーク（市民の声、日本共産党、改革のしろ）

収入保険制度

農業災害補償制度が見直しとなり、既存制度と収入保険制度のいずれかの選択となる。しかし農家への情報が不足している。なるべく早期に情報の提供が必要ではないか。

法律の改正により収入保険制度の創設や農業共済事業の見直しが行われることとなったが、新たな制度の詳細については、今後、省令等で定められる。引き続き情報収集をすることも、加入申し込み窓口となる農業共済組合と連携しながら、随時、農業指導情報の配布や農業協同班長会議等を活用し、農家への情報提供に努めていきたい。

高校生世代まで医療費を助成すべき

現在、医療費の助成は中学生までとなっている。ひとり親家庭の児童については18歳まで実現しているが、全ての高校生世代まで医療費の助成を拡大すべきではないか。

医療費助成は、少子化対策や貧困対策などあらゆる方向から総合的に検討することとしているが、全ての高校生を対象とすることについては、市の単独事業として長期的に継続が可能か財政的な判断も課題となる。現在県で子育て支援の新たな事業を検討しており、今後、県が示す事業の動向も見ながら、市としての方向性を検討したい。

その他の質問事項

- イオン出店
○国民健康保険税

落合 康友

議会改革を推進する諸派の会

種子法廃止への姿勢と有機農業等の普及状況

国では平成26年に、30年ごろまでに我が国の有機農業の取り組み面積の割合を0.4%から1%へ倍増させる数値目標を示している。市内の取り組み推移状況は。

本市で米や大豆、野菜の有機・特別栽培に取り組み、秋田県農業公社等の認証を受けている個人・団体数は、27年度が14件、28年度が17件、29年度が17件。市では、有機農業等により地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組み農業者や、有機・特別栽培米等に取り組み農業者を支援する事業等を実施している。

全国学力テストが本来の目的に沿っているか

学力テストが自治体間競争に傾斜し、過剰な過去問題練習やテスト学力への偏重が著しくなり、本来の実施目的から逸脱している事例が全国的に問題視されている。本市の状況は。

過去問題への取り組みについては、全国学力・学習状況調査を受けるに当たり、事前に学習内容を復習させたり、問題形式になれさせたりすることは必要であると考えている。児童生徒にとって過重な負担にならないように、学習量と時間に配慮し適切に運用されている状況であり、本市においては本来の目的に沿って実施している。

その他の質問事項

- 小規模校児童と統合先校児童間の公平性
○イオン出店影響予測の信憑性

庄司 紘八

平政・公明党

旧東能代中学校跡地の利活用の検討は

第2次能代市総合計画1次素案に初めて「旧東能代中学校跡地の利活用」を取り上げてもらった。東能代まちづくり協議会から要望も出されており、検討結果を注目している。

平成27年、東能代地域まちづくり協議会長ほか2名の連名で、「仮称」のしろ健康拠点センター」整備の提案書が提出されたが、多岐に渡る施設機能について、行政需要を含めた課題整理等を行っている。現在策定中の次期総合計画1次素案でも旧東能代中学校跡地の利活用を課題としており、今後も関係各課による検討を進めていきたい。

能代市総合体育館の環境整備

水と階段の広場を、駐車場や多目的広場に改修したらどうか。体育協会や商工会議所からも要望が出され、施設に不便さを感じている。早期に解決を。

水と階段の広場への駐車スペースの拡大と、多目的広場の整備については、国の補助金等により整備した修景施設を、事業完了後間もないうちに取り壊すとすれば、補助金等の返還が必要となるなど、現時点では難しいものと考えている。なお、河畔公園全体で駐車スペース543台分を確保しており、通常利用では充足しているものと考えている。

その他の質問事項

- 能代市の観光のあり方
○東能代駅自由通路と無料駐車場は
○齊藤市長の4期目